

《目次》

3. ゾーン毎の海岸の現況及び保全の方向.....	3- 1
3-1. ゾーン区分.....	3- 1
3-2. 各ゾーンの現況と問題点・課題.....	3- 3
3-2-1. 防護面における各ゾーンの現況と問題点・課題.....	3- 3
3-2-2. 環境面における各ゾーンの現況と問題点・課題.....	3- 4
3-2-3. 利用面における各ゾーンの現況と問題点・課題.....	3- 5
3-3. 各ゾーンの保全の方向.....	3- 6
3-3-1. 防護面における各ゾーンの保全の方向.....	3- 6
3-3-2. 環境面における各ゾーンの保全の方向.....	3- 7
3-3-3. 利用面における各ゾーンの保全の方向.....	3- 8

3. **ゾーン毎の海岸の現況及び保全の方向**

3-1. **ゾーン区分**

- ▼ 千葉東沿岸には様々な性状の海岸があるため、その保全や整備は、個々の海岸の防護・環境・利用の特性に応じて行なわれていくべきものと考えられるが、一方で広域的に調和の取れた対応を図ることも重要であることから、以下に示す観点から千葉東沿岸を大局的にみたゾーン区分を行った。
- ▼ 千葉東沿岸は、銚子半島の岩礁や小規模な砂浜（ポケットビーチ）、屏風ヶ浦、太東崎の海食崖、飯岡町から一宮町に至る長大な砂浜などからなる九十九里浜沿岸と、海岸段丘の発達により生成された岩礁海岸および多くの流入する河川からの堆積土砂によって生成されたポケットビーチからなる外房沿岸とに大別されるが、それぞれ多様性に富んだ海岸形態や自然環境を有している。
- ▼ 今後はそれぞれの海岸のもつ自然環境や背後の土地利用等に応じたよりきめ細かい対策が必要であることから、沿岸をゾーン区分し、ゾーン毎に、実施していく海岸の防護・環境・利用に関する施策を定める。
- ▼ 区分に際しては、海岸の性状（地形）、漂砂の連続性や海岸線および背後地の土地利用状況や海岸の自然環境を考慮した。

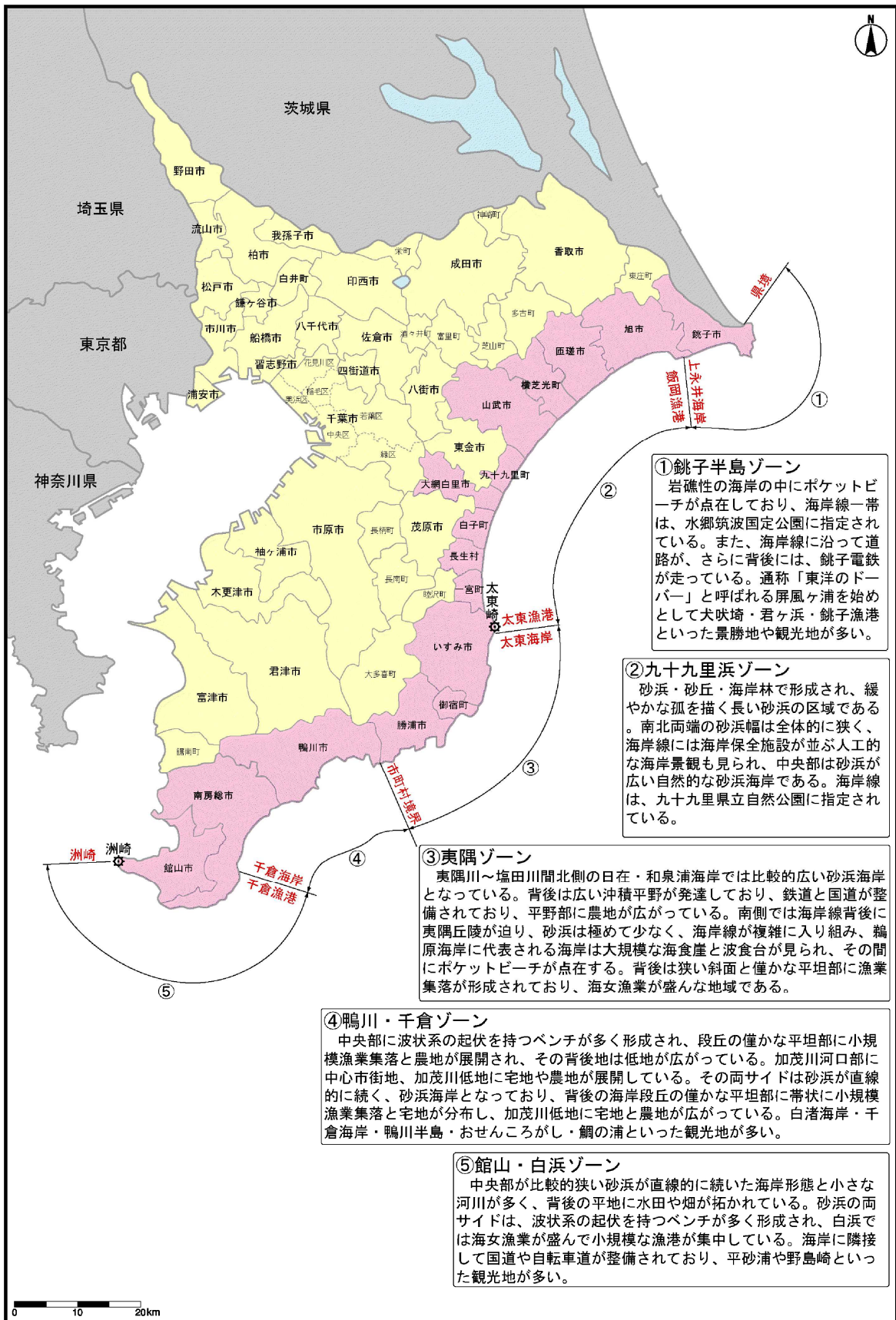


図- 3-1 ゾーン区分

3-2. 各ゾーンの現況と問題点・課題

千葉東沿岸における現状認識をもとに、区分したゾーン毎に海岸保全の問題点・課題を整理すると以下のとおりである。

3-2-1. 防護面における各ゾーンの現況と問題点・課題

	海岸保全の問題点・課題	銚子半島ゾーン (茨城県境～上永井海岸)	九十九里浜ゾーン (飯岡漁港～太東漁港)	夷隅ゾーン (太東海岸～鴨川市境)	鴨川・千倉ゾーン (鴨川市境～千倉海岸)	館山・白浜ゾーン (千倉漁港～洲崎)
防護面	○海岸侵食への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・“東洋のドーバー”と称される屏風ヶ浦や犬吠崎の海食崖や岩礁海岸が海岸線の多くを占める。 ・屏風ヶ浦海岸小浜地区の崖海岸は浸食により海岸線後退の恐れがある。 ・崖・岩礁海岸に囲まれて君ヶ浜や酉明浦などの砂浜海岸が点在するが、浜幅は狭い。 ・酉明地区では飛砂被害が問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本有数の長大な砂浜海岸である九十九里浜は、中央部では自然のままの砂浜が残るが、両端部は侵食傾向にある。 ・太東海岸太東地区の崖海岸の侵食により海岸線後退の恐れがある。 ・下永井地区・横根地区、吉崎地区～木戸地区は、飛砂が問題となっている。 ・北九十九里～木戸にかけての九十九里浜の北部の海岸は、侵食・飛砂の問題があり、北九十九里地区の一部や吉崎地区は浜幅が狭い。 ・白子、一松、一宮の九十九里浜の南部の海岸は、侵食傾向にあり、一宮地区は浜幅が狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸線の大半は八幡岬から岩和田にかけての崖海岸とゾーン南部の岩礁海岸であり、ゾーン北端に和泉、日在浦地区、南部に岩和田地区、部原地区などのポケットビーチが点在している。 ・和泉、日在浦地区や岩和田地区、部原地区は比較的延長の長い砂浜であるが、浜幅は狭い。 ・勝浦東部漁港海岸では砂浜の侵食が問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東条海岸・前原横渚海岸、真門から和田浦、白渚から瀬戸にかけての比較的長い緩い弓なりの砂浜と太海、江見太夫崎・吉浦の岩礁海岸からなる沿岸である。 ・和田浦地区、白渚地区などは浜幅が狭く、白子漁港海岸の砂浜は侵食傾向にある。 ・天津海岸神明地区では飛砂が問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南房総南端の変化に富んだ岩礁海岸と長大な砂浜海岸である平砂浦、伊戸から洲崎に至る岩礁海岸からなる沿岸である。 ・乙浜漁港海岸は侵食傾向にある。
		<p>【地域の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部、くずれそうな場所があり保護が必要。 ・外川漁港で、定期的に、浚渫している砂を九十九里海岸の侵食されているようなところへサンドパイパスする計画はないのでしょうか。 	<p>【地域の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里海岸は、ともかく、砂浜の保全対策が何にも増して優先する。 ・九十九里浜の侵食が進みつつある。砂が流出しないような方法と、海岸を元に戻す方策を検討してもらいたい。 ・保全施設は必要だが、地元の意見を良く聞いて、自然に馴染む形で設置して欲しい。 ・ヘッドランド建設後の漂砂下手側の侵食が非常に激しく、浜崖化する。 ・大変お金がかかるでしょうけど、やはりある程度、野栄以南のほうにもヘッドランドは必要ではないか。 	<p>【地域の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いすみ市の日在では、ウミガメの上陸やラグーンもあって、すごく自然環境に恵まれているが、将来海面が上がってくると、このラグーンもなくなってしまうだろう。温暖化による海面上昇を計画を立てる中に組み込んでいただきたい。 ・砂浜の保全と景観に配慮した海食崖の侵食対策に取り組んで欲しい。 	<p>【地域の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東条海岸～待崎川河口にかけての侵食が激しい状況となっている。 ・東条海岸の砂の減少と越波の被害が顕著。局所的な対策ではなく、高所的な視点での海岸域管理が必要。 ・消波ブロックによる対策ではなく、養浜による対策が望ましい。 ・東条海岸は昔より砂浜が狭くなり、浜ガケも見受けられる。景観上のこともあろうが、離岸堤の設置等が望まれる。 ・天津海岸浜荻一号地区への消波ブロック投入は反対です。 ・前原海岸等の住宅密集地域には高潮対策をお願いしたい。 	<p>【地域の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平砂浦の保安林を守るための直立護岸や、緩傾斜護岸、テトラポットなどの人工構造物は、侵食の原因ともなっており必要ない。 ・相浜海水浴場脇の漁港脇に砂がたまり、平砂浦の保安林の前の浜が侵食している。
	○高潮・高波からの防護	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸背後に道路が通っている外川漁港海岸、名洗港海岸等では、越波、飛沫が問題となっている。 ・外川漁港海岸では保全施設の老朽化、屏風ヶ浦海岸小浜地区では保全施設の沈下が問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸背後には、殆どどの場所で海岸林が設置されており、また道路や住宅地はこれら海岸林を隔てて陸側に立地している。 ・北九十九里地区～木戸地区にかけてと南部の一宮地区は、越波、飛沫が問題となっている。 ・北九十九里地区では、老朽化、沈下、コンクリート劣化、耐震性の強化が問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸線は崖や丘陵地が多く、点在する中小河川が流入する狭い低地に道路、鉄道、住宅地が立地している。 ・太東地区では、保全施設のコンクリート劣化が問題となっている。 ・大原漁港海岸、岩和田漁港海岸、御宿漁港海岸、勝浦東部漁港海岸、串浜漁港海岸、松部漁港海岸、守谷漁港海岸、興津港海岸興津地区、大沢漁港海岸では、越波、飛沫被害が懸念されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸線は、比較的広い鴨川市、和田町・丸山町、南房総市の低平地と丘陵地に点在する中小河川が流入する狭い低地に道路、鉄道、住宅地が立地している。 ・小湊漁港海岸、天津海岸、天津漁港海岸、浜荻漁港海岸、鴨川海岸、江見・和田・丸山海岸、千倉海岸では、越波、飛沫被害が懸念されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸は、幅1キロ程度のなだらかな段丘となっており、花畑や農地が多い。 ・比較的地盤が高いところや海岸線より離れたところの土地利用が多い。 ・川下漁港海岸、白浜西部漁港海岸では越波、飛沫被害が懸念されている。
○津波からの避難と備え	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸市町村が作成した地域防災計画で津波対策が講じられており、潮見町・名洗地区では津波ハザードマップが作成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸市町村が作成した地域防災計画で津波対策が講じられており、全ての地区で避難地が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸市町村が作成した地域防災計画で津波対策が講じられており、勝浦市作成による「津波ハザードマップ」(H23.12)がある。 ・全ての地区において避難地が設定され小湊漁港海岸～鴨川市境においては避難路も設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸市町村が作成した地域防災計画で津波対策が講じられており、鴨川漁港海岸、和田漁港海岸、千倉漁港海岸では津波防災ハザードマップが作成されている。 ・全海岸において避難地が設定され、鴨川市境～浜荻二号海岸においては避難路も設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸市町村が作成した地域防災計画で津波対策が講じられており、乙浜漁港海岸、富崎漁港海岸では津波防災ハザードマップが作成されている。 ・全ての地区において避難地が設定されている。 	

3-2-2. 環境面における各ゾーンの現況と問題点・課題

環境面	海岸保全の問題点・課題		銚子半島ゾーン (茨城県境～上永井海岸)	九十九里浜ゾーン (飯岡漁港～太東漁港)	夷隅ゾーン (太東海岸～鴨川市境)	鴨川・千倉ゾーン (鴨川市境～千倉海岸)	館山・白浜ゾーン (千倉漁港～洲崎)
	○多様な動植物の生息・生育環境の保全	植物	特定植物群落	「犬若海岸崖地植生」、「渡海神社の森」	「九十九里浜北部の砂丘植生」、「八日市場のハマハナヤスリ群落」、「九十九里浜中央部の砂丘植生」、「九十九里地区ハマナス」、「九十九里町のハマニンニク群落」、「一宮川河口の塩湿地植生」、「長生村一松の砂丘植生」	「部原の海岸林」、「勝浦八坂神社の森林」	「天津マルバチシャノキ」、「誕生寺のスダジイ林」
海浜植物			ハマヒルガオ	ハマヒルガオ、ハマエンドウ、ハマボウフウ、コウボウムギ、ハマニンニク、ハマナシ、コウボウシバ	太東海浜植物群落(スカシユリ、ハマヒルガオ、ハマボウフウ等)		コウボウムギ、ハマニンニク、ハマイトヨウ、ハマヒルガオ、ハマボウフウ、イワダレソウ
海岸林、植生等の生育する海岸			「君ヶ浜海岸～酉明浦海岸」	「飯岡漁港海岸」、「九十九里地区(北九十九里)～栗山川漁港海岸」、「南九十九里地区(白子)～(一宮)」			
動物		ウミガメの上陸する海岸		「九十九里海岸北九十九里海岸地区(木戸)」、「九十九里海岸南九十九里一号海岸(白子)(一宮)」	「太東海岸～日在浦海岸」、「部原海岸～勝浦東部漁港海岸」		
海域生物の生息環境		現存する藻場	「銚子漁港海岸～上永井海岸」	「太東漁港海岸太東海岸」、「下永井海岸～太東海岸」	「太東海岸」、「大原漁港海岸～鴨川市境」	「天津ほぼ全域」、「浜波太海岸～江見漁港海岸」、「千倉海岸瀬戸地区～惣戸漁港海岸」	「川口海岸～洲崎漁港海岸」
		河口干潟		一宮川の河口干潟	夷隅川の河口干潟		
				【地域の声】 ・九十九里海岸は、砂浜と松林があって海浜植物、湿地植物が生育している。 ・砂浜から海岸林にかけては、生物多様性そのもの。特に海岸林の野鳥の多さ、場所によるが湿性植物の多さは抜群。トータルとしての保全が必要。 ・緩傾斜護岸の下に埋められてしまった砂などにも当然いるような生物がいたはずで、これらの住処を奪った緩傾斜護岸はすぐにでも取り払ってください。	【地域の声】 ・日在浦の海岸は、人工的な構築物が設けられ、ウミガメの上陸は本当に僅かばかりになってしまっている。こういう貴重な社会教育や観光の資源ともなりうる生物に優しい、海岸環境の保全や開発に留意して様々なプロジェクトを進めて欲しい。	【地域の声】 ・昔はスナメリ(歯クジラ)が鴨川では、頻繁に見られたが最近では少なくなった。 ・白渚海岸では、緩傾斜護岸が入る前は、夜に磯に行けば、1日50匹以上のイセエビが取れたが、今は一晩が眠っても数匹しか獲れないと、地元の漁師さんが言っていた。 ・ハマヒルガオ、ハマゴボウ等の植物、カメの産卵場所が少なくなった。	
○人為的な影響等による海岸環境の変化		自然景観資源	「犬吠埼(海食崖)」、「屏風ヶ浦(海食崖)」、「通蓮洞(跡)(海食洞)」	「九十九里浜(砂丘)」、「殿下・南川岸湿原(湿原)」、「北中瀬・南中瀬(湿原)」	「八幡岬(海食崖)」、「いすみ市大井付近の海食崖(海食崖)」、「いすみ市三十根、御宿町小浦付近の海食崖(海食崖)」、「八幡岬(海食崖)」、「尾名浦のメガネ岩(海食洞)」、「黒ヶ鼻(海食崖)」、「勝浦港小吉尾付近の海食崖(海食崖)」、「鵜原理想郷(海食崖)」、「大ヶ岬(海食崖)」、「守谷の洞窟(海食洞)」、「守谷の海岸石畳(波食台)」、「駿潮付近の波食台(波食台)」、「勝浦市興津付近の海食崖(海食崖)」	「おせんころがし(断層海岸)」、「鯛の浦(海食崖)」、「鴨川松島(多島海)」、「仁右衛門(波食台)」、「太海フラワーセンター内海食洞穴(海食洞)」	「平磯海岸(波食台)」、「白浜海岸(波食台)」、「白浜の鐘乳洞(海食洞)」、「野島崎(波食台)」、「布良の海食洞(海食洞)」、「洲の崎(海食崖)」
		景観指定	・日本の渚百選:「犬吠埼君ヶ浜海岸」	・日本の渚百選、白砂青松百選:「九十九里浜」	・日本の渚百選:「鵜原・守谷海岸」	・日本の渚百選:「前原・横渚海岸」 ・新日本百景:「鴨川松島」、「仁右衛門島」 ・白砂青松百選:「東条海岸」	・白砂青松百選:「平砂浦」
		車両乗り入れ規制の現状	・君ヶ浜海岸、名洗港海岸、小浜海岸では車両乗り入れ規制が行われている。	・ほぼ全域に渡り車両乗り入れ規制が行われている。	・車両乗り入れ規制が行われている砂浜海岸がある。	・和田浦海岸・白渚海岸、大原海岸、瀬戸海岸では車両乗り入れ規制が行われている。	
	海岸のゴミ散乱の状況	・ゴミは各地で問題となっている。	・ゴミはほぼ全域で問題となっている。	・ゴミは各地で問題となっている。	・ゴミは各地で問題となっている。	・ゴミは各地で問題となっている。	
	水質	・海水浴場の水質は、全て「適」であり、水質が良好であることを示している。	・海水浴場の水質は「適」が9ヶ所、「可」が15ヶ所である。	・海水浴場の水質は、全て「適」であり、水質が良好であることを示している。	・海水浴場の水質は、全て「適」であり、水質が良好であることを示している。	・海水浴場の水質は、全て「適」であり、水質が良好であることを示している。	
			【地域の声】 ・産業と観光の発展に合わせて、九十九里浜の雄大な海岸線の自然を残しておく場所も考慮してほしい。 ・ウミガメ孵化の監視活動中に車両乗り入れを目撃した。 ・車両乗り入れや海の家等の不法占有は許されるべきでない。 ・松林の利用方法も検討していただきたい。 ・個々の植物とか動物だけを保護するというのではなく、海岸の自然全体を保全していく方向でやっていただきたい。トータルで考えていただければ、多分、植物も動物も住みやすくて、人間と共存しているようになっていけるだろうと考えています。	【地域の声】 ・南房総は、海岸がPRポイントであり、美しい海岸線の保全は、観光が主である南房総の問題としてではなく、千葉県全体の問題である。 ・海岸沿いの身近な機関の職員が少し時間を割いて海岸美化に目を向けてもらい、地域の人たちと一緒にボランティア活動で海岸を掃除していくことが、この観光地からスタートできればと思う。 ・海岸に漂着する流木について県と地域ボランティアの人たちが一緒に処理することはできないか。	【地域の声】 ・南房総は、海岸がPRポイントであり、美しい海岸線の保全は、観光が主である南房総の問題としてではなく、千葉県全体の問題である。 ・水上バイクなどのオイルや燃料もできる限り環境に優しいものが使用されるように規制する。ハイオクガソリンや燃料添加剤の使用は全面的に禁止すべき。 ・海岸で焚き火やキャンプファイヤーをして、きちんと火の始末をせずに放置する人々がいる。海岸での焚き火はできる場所を限定してはいかげしょう。 ・夏だけ存在している海の家は、海に排水を垂れ流し、撤去後は、釘やガラスなどを置き去りにし、まったく海に対してプラスにならない。	【地域の声】 ・南房総は、海岸がPRポイントであり、美しい海岸線の保全は、観光が主である南房総の問題としてではなく、千葉県全体の問題である。	
○自然環境基盤の維持・保全	環境関連の規制区域等	自然公園	・水郷筑波国定公園:「銚子漁港海岸～名洗港海岸」 ・九十九里県立自然公園:「屏風ヶ浦海岸小浜地区」	・九十九里県立自然公園:「飯岡海岸横根地区～南九十九里一号地区(一宮)(片貝漁港を除く)」 ・南房総国定公園:「太東漁港海岸」	・南房総国定公園:全域に亘り指定されている。	・南房総国定公園:南房総市「白子漁港」を除く全域に亘り指定されている。	・南房総国定公園:全域に亘り指定されている。
		鳥獣保護区	「銚子漁港海岸～名洗港海岸」	「北九十九里地区(吉崎)～(野手)」、「栗山川漁港海岸」、「北九十九里地区(横芝)」、「南九十九里二号地区(片貝)(白子)(長生)」、「太東漁港海岸」	「太東海岸～鴨川市境」	「鴨川市境～小湊漁港海岸」、「広場東海岸～前原横渚海岸」、「瀬戸海岸～惣戸漁港海岸」	「川口海岸～平砂浦海岸」
		保安林	「名洗港海岸～屏風ヶ浦海岸小浜地区」	飯岡海岸横根地区～南九十九里一号地区(一宮)にかけ、ほぼ全域に分布	「日在・和泉浦海岸」、「御宿海岸」	「広場東海岸～前原横渚海岸」、「真門海岸～和田浦海岸」、「大原海岸～三原海岸」、「瀬戸海岸」	「白浜海岸」、「平砂浦海岸」
		海岸砂丘		「九十九里海岸(木戸)」、「(蓮沼)」、「(本須賀)」、「(片貝)」、「(白子)」、「(長生)(一宮)」			「平砂浦海岸」

3-2-3. 利用面における各ゾーンの現況と問題点・課題

海岸保全の問題点・課題	調整または配慮・改善が必要な対象	銚子半島ゾーン (茨城県境～上永井海岸)	九十九里浜ゾーン (飯岡漁港～太東漁港)	夷隅ゾーン (太東海岸～鴨川市境)	鴨川・千倉ゾーン (鴨川市境～千倉海岸)	館山・白浜ゾーン (千倉漁港～洲崎)
○周辺地域の土地利用との連携・調整	背後の土地利用状況	・住宅地や商業業務用地等の高度な利用がなされている。	・農用地や森林に囲まれた住宅地利用が主となっている。	・主に森林が多く、その中に漁港を中心とした集落や商業地が点在している。	・鴨川市を除いて漁港を中心とした集落を中心として、低地では農用地利用が多くなっている。	・農用地やその他の利用が多い。
	海岸周辺の主な施設	・海岸周辺には「流通生産施設」、「福祉施設」、「医療施設」等が整備されている。	・海岸周辺には「コミュニティ施設」や「海岸利用施設」が多く立地している。	・海岸周辺は「教育施設」、「コミュニティ施設」が多く立地して、「医療施設」5ヶ所、「福祉施設」は1ヶ所	・海岸周辺には「流通・生産施設」及び「見学施設」、「コミュニティ施設」が比較的多く立地している。	・海岸周辺に立地する主要な施設は少ない。
	観光レク資源	・「銚子ポートタワー」、「ウオッセ 21 水産物卸売センター」、「君ヶ浜しおさい公園」、「犬吠埼灯台」、「犬吠埼マリナーパーク」、「地球の丸く見える丘展望館」、「犬吠埼の化石漣痕」、「銚子マリナー」	・「いいおかみなと公園」、「飯岡観光センター」、「飯岡温泉」、「砂丘群落」、「矢指ヶ浦温泉館」、「旭九十九里温泉」、「マリンビアクリやまがわ」、「横芝海の子供の国」、「蓮沼浜公園」、「徳富蘆花文学碑」、「ふるさと自然公園センター」、「アクア健康センター」、「白子温泉」、「県立一宮キャンプ場」	・「日在海浜公園」、「サポテン園」、「メキシコ記念公園」、「月の沙漠記念館・御宿町立歴史民族資料館」、「勝浦海中公園」	・「鴨川シーワールド」、「鴨川市郷土資料館」、「道の駅鴨川オーシャンパーク」、「吉浦湯元温泉」、「ローズマリー公園」、「千倉温泉」	・「白浜海洋美術館」、「野島崎灯台」、「白浜温泉」、「根本キャンプ場」、「白浜フラワーパーク」、「不老山薬師温泉」、「平砂浦温泉」、「南房パラダイス」、「館山ファミリーパーク」
	【地域の声】 ・このような総合的な計画をなされるのであれば、その中で、これからの自然志向の風潮の中で、人間が身の丈をもって親しめるような、点だけではなく、人間が線で移動できるような面的な活用も、ぜひお願いしたい。 ・人工リーフを設置するとサーフィンする場合に非常に危険となっている。	【地域の声】 ・海水浴から自然観察、文学散歩まで、全国有数の（地味ではあるが）質の高い観光地としての要素がある。 ・片貝漁港周辺の利用を促進してもらいたい。	【地域の声】 ・レクリエーションという立場から、特に釣り人の視点から防波堤の設計、これも考えていただきたい。	【地域の声】 ・鴨川は湘南に絶対負けないポテンシャルの高い場所です。 ・鴨川駅から海までの通り、前原海岸の前の道路脇の店などを整備すれば、観光スポットになる。 ・鴨川マリナー周辺は、手を加えれば観光スポットになる。 ・宿泊者にとってサーファーのみならずは通年房総へ来られるお客様です。若者にとって魅力のある房総半島して下さい。		
○海岸利用の錯綜に対する対応	漁港・港湾の立地	漁港：「銚子漁港」、「外川漁港」 港湾：「名洗港」	漁港：「飯岡漁港」、「栗山川漁港」、「片貝漁港」、「太東漁港」	漁港：「大原漁港」、「御宿漁港」など12漁港 港湾：「興津港」	漁港：「小湊漁港」、「鴨川漁港」など10漁港	漁港：「千倉漁港」、「乙浜漁港」など16漁港
	漁業活動	浅海域ではハマグリを対象とした貝桁網漁業が行われている	浅海域ではハマグリやナガラミを対象とした貝桁網漁業や浅海域でのアジ等の地引き網等が行われている	岩礁の多い海岸沿いで磯根資源を対象に素潜りによるアワビ、サザエ漁やエビの刺し網漁業が行われている	岩礁の多い海岸沿いで磯根資源を対象に素潜りによるアワビ、サザエ漁やエビの刺し網漁業が行われている	岩礁の多い海岸沿いで磯根資源を対象に素潜りによるアワビ、サザエ漁やエビの刺し網漁業が行われている
	海水浴場	「海鹿島海水浴場」など3箇所	「飯岡海水浴場」、「本須賀海水浴場」など27箇所	「鶴原海水浴場」、「守谷海水浴場」など14箇所	「和田浦海水浴場」など8箇所	「根本海水浴場」など3箇所
	サーフィン	「君ヶ浜海岸 君ヶ浜地区」、「西明浦海岸 西明地区」、「名洗港海岸 名洗地区」、「屏風ヶ浦海岸 小浜地区」	「飯岡海岸 上永井地区」、「飯岡海岸 横根地区」、「北九十九里」、「本須賀」、「片貝漁港海岸」、「片貝」、「白里」、「一松」、「一宮」、「太東漁港海岸」	「太東海岸 太東地区」、「和泉海岸 和泉浦地区」、「大原海岸 日在浦地区」、「岩和田海岸 岩和田地区」、「御宿地区」、「勝浦海岸 部原地区」、「勝浦東部漁港海岸」、「串浜漁港海岸」、「松浦漁港海岸」	「東条海岸 広場東地区」、「鴨川海岸 前原横渚地区」、「江見海岸 真門地区」、「江見 外堀」、「和田海岸 和田浦地区」、「和田海岸 白渚地区」、「和田海岸 大原地区」、「開発地区」、「千倉海岸 三原地区」、「千倉海岸 瀬戸地区」	「平砂浦」
	民族文化・祭り・イベント	大潮祭、きんめだい祭り ほか	「YOU 遊フェスティバル」、「サマーフェスタ」、「初日の出」、「八坂神社御輿浜降り」、「松風マラソン大会」、「ビーチサッカー大会」、「ライフセービング大会」「ふるさと祭り」、「浜まつり」、「白子神社祭礼」、「九十九里はだして歩こう大会」 他	「大原はだか祭り」、「浜勝浦まつり」ほか	「伊勢エビ踊り焼きフェスタ」、「ビーチパレー大会」ほか	「洲崎まつり」ほか
	文化財	「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」、「千騎ヶ岩」	「(県)飯縄寺本堂」、「(町)木造マリア観音座像」、「飯縄寺仁王門」、「飯縄寺鐘楼」	国・県・市町指定文化財多数	県・市町指定文化財多数	国・県・市町指定文化財多数
	地域活動	「遠足」、「ボランティア・NPO等」 【地域の声】（沿岸全般） ・千葉の海は綺麗なので、お金をかけず、景色を見ながらスポーツを楽しめる場所があれば、利用者が増えるのでは。	「ボランティア・NPO等」、「海の村交流会」、「自然観察」、「遠足」、「シーサイドウォッチ」	「ボランティア・NPO等」、「砂の芸術」、「海浜生物学習」、「自然観察」、「水泳」 【地域の声】 ・海を利用するレジャーが一層盛んになるにつれて、その人たちの利害のぶつかり合いを調整する必要があると思います。共存のために、湾内、沿岸の海上交通や規制標識やマップを策定すべきではないでしょうか。	「ボランティア・NPO等」 【地域の声】 ・釣り人、サーファー、観光客等の利用も多いが、昔は砂浜が広く、子供らの野球もできた。	「ボランティア・NPO等」 【地域の声】 ・平砂浦は、貴重なサーフポイントなので、是非このすばらしい場所を守ってもらいたい。
○海岸における利便性、快適性の向上	アクセス	・殆どどの場所では海岸背後に道路が通っており、海岸・水際へのアクセス性は良好であるが、屏風ヶ浦海岸は崖の為に近づくことは出来ない。	・海岸近くに道路が通っており、片貝漁港から一松海岸にかけては九十九里有料道路も通っている。九十九里道路区間では、海岸迄のアクセスはあまり良好とは云えない。	・御宿町から鴨川市境にかけては、海岸背後に国道128号が通っており、これらの場所での海岸・水際へのアクセスは非常に良好である。	・海岸背後には、国道128号及び410号が通っており、全域に亘り海岸及び水際へのアクセスは非常に良好である。	・南房総市から白浜町にかけては、海岸の近くに国道410号が通っており、海岸へのアクセスは良好であり、洲崎にかけては主要な道路は通っていないが、海岸近くに道路があり、海岸近くのアクセスは良好といえる。 ・水際へのアクセスは岩礁海岸が多いため、地形的に近づくことが困難な場所が多い
	海岸の利便性、快適性の向上	・君ヶ浜海岸、西明浦海岸、外川漁港海岸、名洗港海岸では、海岸における計画的な適正利用を図るとともに、利便施設の改善等の課題がある。 ・君ヶ浜海岸、外川漁港海岸ではバリアフリー化の必要性が指摘されている。	・海岸における計画的な適正利用を図るとともに、利便施設の改善等の課題がある海岸が多い。 ・不法占用解消後の適正利用の推進を図る施策を講じる必要がある。 ・バリアフリー化の必要性が指摘されている。	・海岸における計画的な適正利用を図るとともに、利便施設の改善等の課題がある海岸が多い。 ・岩和田漁港海岸、網代湾海岸、勝浦海岸、鶴原漁港海岸、興津海岸ではバリアフリー化の必要性が指摘されている。	・海岸における計画的な適正利用を図るとともに、利便施設の改善等の課題がある海岸が多い。 ・バリアフリー化の必要性が指摘されている海岸が多い。	・乙浜漁港海岸、富崎漁港海岸は海岸における計画的な適正利用を図るとともに、利便施設の改善等の課題がある。 ・乙浜漁港海岸、富崎漁港海岸ではバリアフリー化の必要性が指摘されている。
	【地域の声】 ・安全な遊歩道がほしい。	【地域の声】 ・親水という目的の緩傾斜護岸が作られていますが、この護岸は、ヌルヌルの海藻が付着し、滑りやすくなり、また、ムラサキイガイやカキなどが付着し、素足で歩くにはとても危険な状態になっていて、本来の親水という目的とかけ離れた状態となっている。	【地域の声】 ・和田・白渚海岸で海岸利用のための駐車場やアクセス道が極端にすくなく、利用しづらい。 ・無料駐車場、シャワー、トイレなども整備してもらいたい。 ・和田浦の海水浴場は、日本の海水浴場5選などに選ばれているほどであるが、駐車場が狭いので困っている。保安林を駐車場として解放してもらいたい。	【地域の声】 ・平砂浦海岸は、海岸利用のための駐車場やアクセス道が極端にすくなく、利用しづらい海岸になっている。		

3-3. 各ゾーンの保全の方向

第3-2章で整理した海岸保全の問題点・課題に対する各ゾーンの保全の方向は以下のとおりである。海岸保全の取り組みは、広域及び多岐に渡ることから対応する課題や実施する目的に応じて海岸管理者を始め地元市町村、関係団体、地域住民が協働、連携して取り組んでいく。

3-3-1. 防護面における各ゾーンの保全の方向

		銚子半島ゾーン (茨城県境～上永井海岸)	九十九里浜ゾーン (飯岡漁港～太東漁港)	東隅ゾーン (太東海岸～鴨川市境)	鴨川・千倉ゾーン (鴨川市境～千倉海岸)	館山・白浜ゾーン (千倉漁港～洲崎)	
テーマ（案）		～雄大な屏風ヶ浦からの崖景観の保全と観光レクリエーション資源と連携した海岸利用の推進～	～長大な九十九里浜の白砂青松の保全・回復～		～自然の観光資源を活かした親しみの海辺空間づくり～	～地域と自然が融合したふれあいの海辺づくり～	～人々が集う憩い・安らぎの美しい海辺づくり～
	○砂浜の保全・回復のための広域的な漂砂管理の推進		九十九里浜では、北九十九里から木戸にかけての北部の海岸および白子から一宮にかけての南部の海岸は、侵食が問題となっており、北九十九里地区の一部、吉崎地区、一宮地区は浜幅が狭い。 九十九里浜は、日本有数の長大な砂浜海岸であり、植生が繁茂し砂丘や海岸林とあいまって形成される雄大な景観は「日本の渚百選」に選定されるなど地域の誇りとなっている。さらには、地域の産業や観光の貴重な資源であり、重要な防災施設でもあることから、砂浜の恒久的な保全に向けて、漂砂機構を十分に把握し、広域的な漂砂管理を推進する。 現在、九十九里浜の南北両端で侵食が進行しつつあり、その要因として、漂砂の供給源である屏風ヶ浦、太東崎からの供給が減少したことが挙げられる。 既存の調査・研究結果によると九十九里浜沿岸の沿岸漂砂は、南北両端から中央部に向かう流れである。 将来的には、漂砂供給源である屏風ヶ浦、太東崎からの漂砂の供給は、崖侵食防止対策の実施により期待できない状況であり、さらには、流入河川からの供給土砂量も、河川規模が小さいために期待できるものではない。 したがって、九十九里浜における海岸保全対策は、現在の漂砂環境を十分に把握し、土砂の収支をバランスさせることで海浜の保全を図ることが最も望ましいと考えられる。 広域的な漂砂管理に向けては、土砂動態の現状を詳細に把握する必要があるため、その解明に資する調査・観測を実施していく。 また、九十九里浜の中央部では、自然のままの砂浜が残るが、一部、侵食傾向にある海岸もある。このような地域については、来襲波浪や地形変化の継続的な観測を行うなど、積極的に予防措置を講じる。				
実施・海岸管理者主導 防護	○土砂動態の解明、砂浜の保全・回復のための調査、観測	“東洋のドーバー”と称される屏風ヶ浦の一部の地域では、海食崖の侵食がみられることから、地域住民や漁業利用者に防災対策に対する理解を得るとともに、県立自然公園ともなっている雄大な海食崖の自然景観の連続性に十分に配慮し、それらへの影響を最小限におさえる方法で崖侵食対策を進めるものとする。 君ヶ浜や西明浜など比較的砂浜幅の狭い海岸では、来襲波浪や地形変化の継続的な観測を行うなど、積極的に砂浜の侵食に対する予防措置を講じる。	現在、九十九里浜においては、南北両端の急激な侵食が連鎖的に伝播することを防止し、安定海浜を保つため、ヘッドランド工法等による侵食対策がすすめられている現状にある。 侵食が著しい区域については、自然の消波機能を補完する保全施設整備を行う方針とし、海岸全体における土砂動態に注目し、整備による隣接海岸や河口部などの周辺環境に対する影響および漂砂の動向の変化を把握し、各海岸特有の漂砂特性を踏まえ、適切な保全施設整備を図るものとする。 さらに、侵食対策の推進にあたっては、砂浜の維持にとどまらず、その復元に向け、片貝漁港や飯岡漁港、太東漁港など土砂の堆積域からのサンドバイパスやサンドリサイクルにより砂を循環させること、陸域での余剰土砂等を利用した養浜工により土砂の供給を増やすことにより、新たな平衡状態を創出することを目指すものとする。そして、十分な砂浜が保たれた場合には、より自然に近いかたちでの砂浜の保全を図るものとする。	和泉、日在浦地区や岩和田地区、部原地区など比較的砂浜幅の狭い海岸では、来襲波浪や地形変化の継続的な観測を行うなど、積極的に砂浜の侵食に対する予防措置を講じる。	和明浦地区や白渚地区など砂浜幅の狭い海岸では、来襲波浪や地形変化の継続的な観測を行うなど、積極的に砂浜の侵食に対する予防措置を講じる。	白砂青松百選に選定され背後に砂丘が広がる平砂浦や侵食傾向にある海岸では、来襲波浪や地形変化の継続的な観測を行うなど、積極的に砂浜の侵食の予防措置を講じる。	
	○漂砂系を維持する保全施設整備	君ヶ浜や西明浜では砂浜の侵食が問題となっていることから、地域住民に防災対策に対する理解を得つつ、盛んなサーフィン利用や海水浴利用、浅海域における漁業、周辺海域の藻場、「水郷筑波国定公園」や「日本の渚百選」に選定されているその海岸景観や海岸固有の漂砂特性に配慮し、漂砂系を維持することを基本とし、それらへの影響を最小限におさえる方法で対策を進める。		勝浦東部漁港海岸などでは砂浜の侵食が問題となっていることから、地域住民に防災対策に対する理解を得つつ、盛んなサーフィン利用や海水浴利用、アワビ、サザエを中心とした浅海域における漁業、周辺海域の藻場、「南房総国定公園」に選定されているその海岸景観や海岸固有の漂砂特性に配慮し、漂砂系を維持することを基本とし、それらへの影響を最小限におさえる方法で対策を進める。	白子漁港海岸などでは砂浜の侵食が問題となっていることから、地域住民に防災対策に対する理解を得つつ、盛んなサーフィン利用や海水浴利用、アワビ、サザエを中心とした浅海域における漁業、周辺海域の藻場および白子漁港を除く全域が「南房総国定公園」に選定されている海岸景観や海岸固有の漂砂特性に配慮し、漂砂系を維持することを基本とし、それらへの影響を最小限におさえる方法で対策を進める。	乙浜漁港海岸などでは砂浜の侵食が問題となっていることから、地域住民に防災対策に対する理解を得つつ、盛んなサーフィン利用や海水浴利用、アワビ、サザエを中心とした浅海域における漁業、周辺海域の藻場、「南房総国定公園」に選定されている海岸景観や海岸固有の漂砂特性に配慮し、漂砂系を維持することを基本とし、それらへの影響を最小限におさえる方法で対策を進める。	
	○地域や周辺の海岸環境に配慮した方法による浸水及び越波被害の防止	海岸背後に道路が通っている外川漁港海岸、名洗港海岸などでは、越波、飛沫が問題となっていることから、自然の消波機能を補完する対策を行う方針とし、地域住民や漁業利用者に防災対策に対する理解を得るとともに、藻場や海水浴利用など周辺環境、利用に対する影響を最小限におさえる方法で浸水及び越波被害の防止を図るものとする。	海岸背後には、殆どどの場所でも海岸林が設置されており、また道路や住宅地はこれら海岸林を隔てて陸側に立地している場合がほとんどであるが、北九十九里地区から木戸地区にかけてと南部の一宮地区は、越波、飛沫が問題となっている。 地域住民や浅海域で貝桁網漁業などを営む漁業利用者に防災対策に対する理解を得るとともに、広範囲にわたる海水浴利用や世界選手権が開催されるなどメッカともなっているサーフィン利用、各地に分布するハマヒルガオ、ハマナス、ハマニククなどの砂丘植生や海浜植物群落、河口部の塩湿地植生などの周辺の環境、漁業などの利用に対する影響を最小限におさえる方法で浸水及び越波被害の防止を図るものとする。	海岸線は崖や丘陵地が多く、点在する中小河川が流入する狭い低地に道路、鉄道、住宅地が立地しており、岩和田漁港海岸、御宿漁港海岸などでは、越波、飛沫が問題となっていることから、自然の消波機能を補完する対策を行う方針とし、地域住民や漁業利用者に防災対策に対する理解を得るとともに、藻場や海水浴利用など周辺環境、利用に対する影響を最小限におさえる方法で浸水及び越波被害の防止を図るものとする。	海岸線は比較的広い低平地と丘陵地に点在する中小河川が流入する狭い低地に道路、鉄道、住宅地が立地しており、小湊漁港海岸内浦地区、天津漁港海岸、広場東海岸、白渚海岸などでは、越波、飛沫が問題となっていることから、自然の消波機能を補完する対策を行う方針とし、地域住民や漁業利用者に防災対策に対する理解を得るとともに、藻場や海水浴利用など周辺環境、利用に対する影響を最小限におさえる方法で浸水及び越波被害の防止を図るものとする。	海岸線は、幅1キロ程度のなだらかな段丘となっており、比較的地盤が高いところや海岸線より離れたところの土地利用が多いが、川下漁港海岸、白浜西部漁港海岸では越波、飛沫が問題となっていることから、自然の消波機能を補完する対策を行う方針とし、地域住民や漁業利用者に防災対策に対する理解を得るとともに、藻場や海水浴利用など周辺環境、利用に対する影響を最小限におさえる方法で浸水及び越波被害の防止を図るものとする。	
	○津波対策の拡充	平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、特に九十九里浜の低平地や河口部において甚大な被害が発生した。また、その他にも過去に津波の遡上による被害がある箇所もあり、海岸の地形特性や津波の波源の位置によっては、遡上高が大きくなることも考えられることから、津波対策の拡充が望まれる。 津波来襲の実績、津波の浸入や遡上を抑制する盾となる砂丘や松林などの自然の防災機能、予想される津波被害の想定などの津波対策に関する調査・研究を推進しその周知を図るなど、地域における避難体制・安全情報伝達などの津波対策を支援していくものとする。					
○飛砂被害の低減	西明地区では飛砂被害が問題となっていることから、砂浜の状況や背後の土地利用などに十分に配慮し、海浜植生や海岸林による被害の低減効果の検討を推進するなど、砂浜、海浜植生の保全などと併せた広い視野での対策を実施していく。	下永井地区・横根地区、吉崎地区から木戸地区は、飛砂が問題となっている。砂浜の状況や背後の松林、土地利用などに十分に配慮し、海浜植生や海岸林による被害の低減効果の検討を推進するなど、砂浜、海浜植生の保全や保安林の整備など併せた広い視野での対策を実施していく。					
○海岸保全施設の維持管理	外川漁港海岸では保全施設の老朽化、屏風ヶ浦海岸小浜地区では保全施設の沈下が問題となっていることから、点検、補修、施設の耐震強化などの適切な維持・管理を実施し、防護機能の保持に努める。					防護効果の低下が懸念される海岸保全施設については、適切な維持・管理を実施し、防護機能の保持に努める。	

3-3-2. 環境面における各ゾーンの保全の方向

		銚子半島ゾーン (茨城県境～上永井海岸)	九十九里浜ゾーン (飯岡漁港～太東漁港)	夷隅ゾーン (太東海岸～鴨川市境)	鴨川・千倉ゾーン (鴨川市境～千倉海岸)	館山・白浜ゾーン (千倉漁港～洲崎)
テーマ (案)		～雄大な屏風ヶ浦からの崖景観の保全と観光レクリエーション資源と連携した海岸利用の推進～	～長大な九十九里浜の白砂青松の保全・回復～	～自然の観光資源を活かした親しみの海辺空間づくり～	～地域と自然が融合したふれあいの海辺づくり～	～人々が集う憩い・安らぎの美しい海辺づくり～
実施 … 地域(市町村、関係団体、地域住民)と海岸管理者の協働、連携	○海岸保全区域における動植物の生息・生育環境の保全と周辺の自然環境と調和した保全施設整備	屏風ヶ浦などの岩礁・崖海岸や海岸林などは、磯の生物や崖地植生、海岸に生息する昆虫類など地域特有の動植物の生息・生育基盤となっていることから、海岸保全施設の整備にあたっては、陸域・海域の生物の生育・生息状況を十分に把握し、生育・生息域の保全・再生方策の導入を検討し、周辺の自然環境に与える影響を最小限に抑えるものとする。 既に設置されている施設等については、地域の自然環境の再生や周辺環境との調和に配慮し、生物の生育・生息が減少・消失した箇所では、必要に応じて改善策を検討していく方針とする。	九十九里の砂浜、河口干潟および海岸林は、ウミガメやコアジサシ、砂丘植物群落、塩湿地植生、海岸に生息する昆虫類など地域特有の動植物の生息・生育基盤となっていることから、海岸保全施設の整備にあたっては、陸域・海域の生物の生育・生息状況を十分に把握し、生育・生息域の保全・再生方策の導入を検討し、周辺の自然環境に与える影響を最小限に抑えるものとする。 既に設置されている施設等については、地域の自然環境の再生や周辺環境との調和に配慮し、生物の生育・生息が減少・消失した箇所では、必要に応じて改善策を検討していく方針とする。	岩礁・崖海岸や海岸林などは、磯の生物や崖地植生、海岸に生息する昆虫類など地域特有の動植物の生息・生育基盤となっていることから、海岸保全施設の整備にあたっては、陸域・海域の生物の生育・生息状況を十分に把握し、生育・生息域の保全・再生方策の導入を検討し、夷隅川の河口干潟等の周辺の自然環境に与える影響を最小限に抑えるものとする。 既に設置されている施設等については、地域の自然環境の再生や周辺環境との調和に配慮し、生物の生育・生息が減少・消失した箇所では、必要に応じて改善策を検討していく方針とする。	岩礁・崖海岸や海岸林などは、磯の生物や崖地植生、海岸に生息する昆虫類など地域特有の動植物の生息・生育基盤となっていることから、海岸保全施設の整備にあたっては、陸域・海域の生物の生育・生息状況を十分に把握し、生育・生息域の保全・再生方策の導入を検討し、周辺の自然環境に与える影響を最小限に抑えるものとする。 既に設置されている施設等については、地域の自然環境の再生や周辺環境との調和に配慮し、生物の生育・生息が減少・消失した箇所では、必要に応じて改善策を検討していく方針とする。	岩礁・崖海岸や平砂浦の砂丘や海岸林などは、磯の生物や崖地植生、海岸に生息する昆虫類など地域特有の動植物の生息・生育基盤となっていることから、海岸保全施設の整備にあたっては、陸域・海域の生物の生育・生息状況を十分に把握し、生育・生息域の保全・再生方策の導入を検討し、周辺の自然環境に与える影響を最小限に抑えるものとする。 既に設置されている施設等については、地域の自然環境の再生や周辺環境との調和に配慮し、生物の生育・生息が減少・消失した箇所では、必要に応じて改善策を検討していく方針とする。
	○砂浜、岩礁、海食崖などの多様な自然の海岸景観の保全	犬吠崎や屏風ヶ浦の海食崖、通蓮洞(跡)や日本の渚百選に選定されている犬吠崎ヶ浜海岸などの貴重な海岸景観や、背後地や周辺地域と一体となった景観の連続性を十分検討し、海岸景観の保全対策を実施していくものとする。	九十九里浜の砂丘や殿下・南川岸、北中瀬・南中瀬の湿原や日本の渚百選、白砂青松百選に選定されている九十九里浜などの貴重な海岸景観や、背後地や周辺地域と一体となった景観の連続性を十分検討し、海岸景観の保全対策を実施していくものとする。	八幡岬や鶴原理想郷に代表される海食崖や海食洞・波食台および日本の渚百選に選定されている鶴原海岸、守谷海岸などの貴重な海岸景観や、背後地や周辺地域と一体となった景観の連続性を十分検討し、海岸景観の保全対策を実施していくものとする。	おせんころがし(断層海岸)、鯛の浦(海食崖)、鴨川松島(多島海)、仁右衛門(波食台)や日本の渚百選に「前原・横渚海岸」、新日本百景に「鴨川松島」、「仁右衛門島」および白砂青松百選に「東条海岸」がそれぞれ選定されていることから、これら貴重な海岸景観や、背後地や周辺地域と一体となった景観の連続性を十分検討し、海岸景観の保全対策を実施していくものとする。	平磯海岸、白浜海岸および野島崎に代表される波食台、白浜や布良の海食洞、洲の崎の海食崖および日本の渚百選に選定されている平砂浦などの貴重な海岸景観や、背後地や周辺地域と一体となった景観の連続性を十分検討し、海岸景観の保全対策を実施していくものとする。
	○海岸への漂着ゴミなどへの対応	各地で海岸に散乱するゴミが問題となっていることから、きれいで快適な海岸、生物にやさしい海岸をめざし、地域や各種機関との連携を図りながら、漂着ゴミや流木に対する処理システムの構築や良好な水質の保全のための啓発活動の推進など、利根川など流域を含めた広域的な視野に立った対策を支援する。	ほぼ全域にわたり散乱するなど海岸のゴミが問題となっていることから、きれいで快適な海岸、生物にやさしい海岸をめざし、地域や各種機関との連携を図りながら、漂着ゴミや流木に対する処理システムの構築や良好な水質の保全のための啓発活動の推進など、一宮川など沿岸に流入する河川の流域を含めた広域的な視野に立った対策を支援する。	ほぼ全域にわたり散乱するなど海岸のゴミが問題となっていることから、きれいで快適な海岸、生物にやさしい海岸をめざし、地域や各種機関との連携を図りながら、漂着ゴミや流木に対する処理システムの構築や良好な水質の保全のための啓発活動の推進など、夷隅川など沿岸に流入する河川の流域を含めた広域的な視野に立った対策を支援する。	ほぼ全域にわたり散乱するなど海岸のゴミが問題となっていることから、きれいで快適な海岸、生物にやさしい海岸をめざし、地域や各種機関との連携を図りながら、漂着ゴミや流木に対する処理システムの構築や良好な水質の保全のための啓発活動の推進など、加茂川など沿岸に流入する河川の流域を含めた広域的な視野に立った対策を支援する。	各地で海岸に散乱するゴミが問題となっていることから、きれいで快適な海岸、生物にやさしい海岸をめざし、地域や各種機関との連携を図りながら、漂着ゴミや流木に対する処理システムの構築や良好な水質の保全のための啓発活動の推進など、流域を含めた広域的な視野に立った対策を支援する。
○動植物の保護のための施設整備・保護意識の啓蒙	犬若海岸の崖地植生や砂浜に生育するハマヒルガオなどの生息地においては、進入防止・看板類等の設置による保護対策や、保全のための啓蒙活動の充実、また、日常的なモニタリング、愛護活動を促進するなど、保護管理のための体勢づくりを支援する。	九十九里浜には、ハマヒルガオ、ハマナス、ハマニンニクなどの砂丘植生や海浜植物群落が各地に分布し、河口部には塩湿地植生が繁茂している。また、アカウミガメが上陸散乱し、コアジサシなどの鳥類がコロニーをつくるなど、様々な動植物が生育・生息していることから、それらの生育・生息地においては、進入防止・看板類等の保護対策や、保全のための啓蒙活動の充実、また、日常的なモニタリング、愛護活動を促進するなど、保護管理のための体勢づくりを支援する。	「部原の海岸林」や上陸が僅かとなったアカウミガメなどの動植物が生育・生息していることから、それらの生育・生息地においては、進入防止・看板類等の保護対策や、保全のための啓蒙活動の充実、また、日常的なモニタリング、愛護活動を促進するなど、保護管理のための体勢づくりを支援する。	かつては広く分布していたハマヒルガオや上陸が僅かとなったアカウミガメなどの動植物の生育・生息の場の回復を目指して、進入防止・看板類等の保護対策や、保全のための啓蒙活動の充実、また、日常的なモニタリング、愛護活動を促進するなど、保護管理のための体勢づくりを支援する。	かつては広く分布していたハマヒルガオや上陸が僅かとなったアカウミガメなどの動植物の生育・生息の場の回復を目指して、進入防止・看板類等の保護対策や、保全のための啓蒙活動の充実、また、日常的なモニタリング、愛護活動を促進するなど、保護管理のための体勢づくりを支援する。	
者 主 導	○油流出等の突発的な事故への適切な対応	本沿岸は、平成10年8月に犬吠崎沖の貨物船・タンカーの衝突に伴い、大量の油が海岸に漂着したことがあるが、人々の生活だけでなく、油流出等の突発的に生じる事故に対しては、海岸環境への影響を最小限でくい止めるため適切な対応を図る。				

3-3-3. 利用面における各ゾーンの保全の方向

		銚子半島ゾーン (茨城県境～上井海岸)	九十九里浜ゾーン (飯岡漁港～太東漁港)	夷隅ゾーン (太東海岸～鴨川市境)	鴨川・千倉ゾーン (鴨川市境～千倉海岸)	館山・白浜ゾーン (千倉漁港～洲崎)
テーマ(案)		～雄大な屏風ヶ浦からの崖景観の保全と観光レクリエーション資源と連携した海岸利用の推進～	～長大な九十九里浜の白砂青松の保全・回復～	～自然の観光資源を活かした親しみの海辺空間づくり～	～地域と自然が融合したふれあいの海辺づくり～	～人々が集う憩い・安らぎの美しい海辺づくり～
地域 (市町村、関係団体、地域住民)と海岸管理者の協働、連携	○保全施設整備における海岸域利用への配慮	保全施設整備においては、既存の事業を活用するとともに、背後地の土地利用計画や道路網の整備などのまちづくりや港湾、漁港利用、海水浴やサーフィン等のレクリエーション利用および観光利用と十分に調整を図るものとする。さらに、整備による波や流れの変化などの海域環境への影響に対し、適切に対応していくものとする。	保全施設整備においては、既存の事業を活用するとともに、背後地の土地利用計画や道路網の整備などのまちづくりや漁港および地引き網等の漁業での利用、海水浴やサーフィン等のレクリエーション利用および観光利用と十分に調整を図るものとする。さらに、整備による波や流れの変化などの海域環境への影響に対し、適切に対応していくものとする。	保全施設整備においては、既存の事業を活用するとともに、背後地の土地利用計画や道路網の整備などのまちづくりや港湾、漁港利用、海水浴やサーフィン等のレクリエーション利用および観光利用と十分に調整を図るものとする。さらに、整備による波や流れの変化などの海域環境への影響に対し、適切に対応していくものとする。	保全施設整備においては、C.C.Z整備などの海岸環境に配慮した既存の事業を活用するとともに、背後地の土地利用計画や道路網の整備などのまちづくりや港湾、漁港利用、海水浴やサーフィン等のレクリエーション利用および観光利用と十分に調整を図るものとする。さらに、整備による波や流れの変化などの海域環境への影響に対し、適切に対応していくものとする。	保全施設整備においては、既存の事業を活用するとともに、背後地の土地利用計画や道路網の整備などのまちづくりや漁港利用、海水浴やサーフィン等のレクリエーション利用および観光利用と十分に調整を図るものとする。さらに、整備による波や流れの変化などの海域環境への影響に対し、適切に対応していくものとする。
	○保全地区と利用地区の適正な棲み分け	人為的な影響による海岸環境のダメージが危惧されている。利用を規制し保護区域(海浜植物や海食崖、海食洞等)として資源を守っていく区域を定めるなど、保全すべき自然環境と地域ニーズに沿った海岸利用の棲み分けを行っていくことを目指すものとする。	人為的な影響による海岸環境のダメージが危惧されている。利用を規制し保護区域(ウミガメや海浜植物等)として資源を守っていく区域を定めるなど、保全すべき自然環境と地域ニーズに沿った海岸利用の棲み分けを行っていくことを目指すものとする。	人為的な影響による海岸環境のダメージが危惧されている。利用を規制し保護区域(ウミガメや海食崖や海食洞・波食台)として資源を守っていく区域を定めるなど、保全すべき自然環境と地域ニーズに沿った海岸利用の棲み分けを行っていくことを目指すものとする。	人為的な影響による海岸環境のダメージが危惧されている。利用を規制し保護区域(断層海岸、海食崖、波食台)として資源を守っていく区域を定めるなど、保全すべき自然環境と地域ニーズに沿った海岸利用の棲み分けを行っていくことを目指すものとする。	人為的な影響による海岸環境のダメージが危惧されている。利用を規制し保護区域(波食台、海食洞、海食崖等)として資源を守っていく区域を定めるなど、保全すべき自然環境と地域ニーズに沿った海岸利用の棲み分けを行っていくことを目指すものとする。
	○誇りのもてる美しい地域づくり	君ヶ浜海岸、外川漁港海岸などでは、利便施設の不足・改善の必要性が指摘されているほか、各地でゴミの散乱が問題となっていることから、海岸利用マナーの啓発・向上を図るほか、利便施設整備の環境や景観に対する配慮や施設の維持・管理を徹底して、年間を通じ美しい環境を維持することにより、汚すことがためられるような、地域主体による誇りのもてる美しい海岸づくりを支援する。	利便施設の不足・改善等の課題がある海岸が多く、ほぼ全域にわたりゴミが散乱するなどの問題が指摘されていることから、海岸利用マナーの啓発・向上を図るほか、利便施設整備の環境や景観に対する配慮や施設の維持・管理を徹底して、年間を通じ美しい環境を維持することにより、汚すことがためられるような地域主体による誇りのもてる美しい海岸づくりを支援する。	本ゾーンでは、利便施設の不足・改善の必要性が指摘されている海岸が多いほか、各地でゴミの散乱が問題となっていることから、海岸利用マナーの啓発・向上を図るほか、利便施設整備の環境や景観に対する配慮や施設の維持・管理を徹底して、年間を通じ美しい環境を維持することにより、汚すことがためられるような地域主体による誇りのもてる美しい海岸づくりを支援する。	本ゾーンでは、利便施設の不足・改善の必要性が指摘されている海岸が多いほか、各地でゴミの散乱が問題となっていることから、海岸利用マナーの啓発・向上を図るほか、利便施設整備の環境や景観に対する配慮や施設の維持・管理を徹底して、年間を通じ美しい環境を維持することにより、汚すことがためられるような地域主体による誇りのもてる美しい海岸づくりを支援する。	南房総の温暖な気候に咲く花に彩られる自然のままの美しい海岸線は、地域のみならず国民の財産である。乙浜漁港海岸や富崎漁港海岸などでは、利便施設の不足・改善の必要性が指摘されているほか、各地でゴミの散乱が問題となっていることから、海岸利用マナーの啓発・向上を図るほか、利便施設整備の環境や景観に対する配慮や施設の維持・管理を徹底して、年間を通じ美しい環境を維持することにより、汚すことがためられるような地域主体による全国に誇る魅力ある地域づくりを支援する。
	○利用者の啓発・PR、管理・監視体制づくり	環境維持・改善に対する利用者の啓発・PRを実施するとともに、市町村や地域団体など地元地域を主体とした管理や監視の体制・組織づくり、さらには地域特性に応じた海岸利用のルール作りを推進する。	環境維持・改善に対する利用者の啓発・PRを実施するとともに、市町村や地域団体など地元地域を主体とした管理や監視の体制・組織づくり、さらには地域特性に応じた海岸利用のルール作りを推進する。	環境維持・改善に対する利用者の啓発・PRを実施するとともに、市町村や地域団体など地元地域を主体とした管理や監視の体制・組織づくり、さらには地域特性に応じた海岸利用のルール作りを推進する。	環境維持・改善に対する利用者の啓発・PRを実施するとともに、市町村や地域団体など地元地域を主体とした管理や監視の体制・組織づくり、さらには地域特性に応じた海岸利用のルール作りを推進する。	環境維持・改善に対する利用者の啓発・PRを実施するとともに、市町村や地域団体など地元地域を主体とした管理や監視の体制・組織づくり、さらには地域特性に応じた海岸利用のルール作りを推進する。
	○海岸の環境教育と情報発信による魅力ある海岸づくり	海岸域では、「大潮祭」や「きんめだい祭り」の海にまつわる祭りや「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」などの文化財及びボランティアやNPOなどによる地域活動があるなど、地域の文化が育まれている。さらに魅力ある海岸を目指して、海岸保全に関する地域活動や教育文化施設などと連携して、海岸における地域の歴史や文化、海岸の成り立ちや動植物などの自然環境、さらには海岸により異なる波や流れの特性、津波の恐ろしさを学ぶ機会を設けるなど、海岸の環境教育を推進するとともに、海岸に関する情報を積極的に発信するとともに、広く情報の収集に努め、安全性の確保はもとより、海岸の快適性・利便性の向上に努めるなど、魅力ある海岸づくりを推進する。	沿岸各地の砂浜で、浜降りやはだして歩こう会などの祭りやイベントが行われ、一宮ではサーフィンの世界大会が開催され、また、自然観察やボランティアやNPOなどによる地域活動があるなど、地域の文化が育まれている。さらに魅力ある海岸を目指して、海岸保全に関する地域活動や教育文化施設などと連携して、海岸における地域の歴史や文化、海岸の成り立ちや動植物などの自然環境、さらには海岸により異なる波や流れの特性、津波の恐ろしさを学ぶ機会を設けるなど、海岸の環境教育を推進する。さらに、海岸に関する情報を積極的に発信するとともに、広く情報の収集に努め、安全性の確保はもとより、海岸の快適性・利便性の向上に努めるなど、魅力ある海岸づくりを推進する。	海岸域では、「大原はだか祭り」や「浜勝浦まつり」といった海にまつわる祭りや多数の文化財、またはボランティアやNPOなどによる地域活動があるなど、地域の文化が育まれている。さらに魅力ある海岸を目指して、海岸保全に関する地域活動や教育文化施設などと連携して、海岸に関する情報を積極的に発信するとともに、広く情報の収集に努め、安全性の確保はもとより、海岸の快適性・利便性の向上に努めるなど、魅力ある海岸づくりを推進する。	海岸域では、「伊勢工区踊り焼きフェスタ」やビーチパレ一大会といった海にまつわる祭り・イベントや多数の文化財、またはボランティアやNPOなどによる地域活動があるなど、地域の文化が育まれている。さらに魅力ある海岸を目指して、海岸保全に関する地域活動や教育文化施設などと連携して、海岸における地域の歴史や文化、海岸の成り立ちや動植物などの自然環境、さらには海岸により異なる波や流れの特性、津波の恐ろしさを学ぶ機会を設けるなど、海岸の環境教育を推進するとともに、海岸に関する情報を積極的に発信するとともに、広く情報の収集に努め、安全性の確保はもとより、海岸の快適性・利便性の向上に努めるなど、魅力ある海岸づくりを推進する。	海岸域では、「洲崎まつり」などの海にまつわる祭りや国・県・市町村指定の文化財、またはボランティアやNPOなどによる地域活動があるなど、地域の文化が育まれているとともに、全国に誇る観光地であり、南房総国定公園に指定されている自然のままの海岸が多く残る魅力あふれる海岸である。海岸保全に関する地域活動や教育文化施設などと連携して、海岸における地域の歴史や文化、海岸の成り立ちや動植物などの自然環境、さらには海岸により異なる波や流れの特性、津波の恐ろしさを学ぶ機会を設けるなど、海岸の環境教育を推進する。さらに、海岸に関する情報を積極的に発信するとともに、広く情報の収集に努め、安全性の確保はもとより、海岸の快適性・利便性の向上に努めるなど、さらなる魅力の向上に努める。
	○市町村による日常的な管理の実施	保全すべき自然環境と地域ニーズとの調和を保つ施策や、地域特性に応じた海岸利用のルールづくりの推進、地域と一体となった魅力ある海岸づくりの促進のため、市町村による適正利用の計画化と市町村に対する日常的な管理移管を推進する。	保全すべき自然環境と地域ニーズとの調和を保つ施策や、地域特性に応じた海岸利用のルールづくりの推進、地域と一体となった魅力ある海岸づくりの促進のため、市町村による適正利用の計画化と市町村に対する日常的な管理移管を推進する。	保全すべき自然環境と地域ニーズとの調和を保つ施策や、地域特性に応じた海岸利用のルールづくりの推進、地域と一体となった魅力ある海岸づくりの促進のため、市町村による適正利用の計画化と市町村に対する日常的な管理移管を推進する。	保全すべき自然環境と地域ニーズとの調和を保つ施策や、地域特性に応じた海岸利用のルールづくりの推進、地域と一体となった魅力ある海岸づくりの促進のため、市町村による適正利用の計画化と市町村に対する日常的な管理移管を推進する。	保全すべき自然環境と地域ニーズとの調和を保つ施策や、地域特性に応じた海岸利用のルールづくりの推進、地域と一体となった魅力ある海岸づくりの促進のため、市町村による適正利用の計画化と市町村に対する日常的な管理移管を推進する。
実施主体 … 海岸管理者主導	○「海の家等適正利用指針」などによる適正な海岸利用の推進	適正利用を遵守する体制の構築と計画的な海岸利用の推進、健全で秩序ある海岸利用の推進、地域ニーズと調和した海岸利用の推進のため、「千葉県海の家等適正利用指針」に基づき、市町村において地域特性に応じた計画的な海岸利用の促進を図るとともに、海岸の適正な管理に努める。	適正利用を遵守する体制の構築と計画的な海岸利用の推進、健全で秩序ある海岸利用の推進、地域ニーズと調和した海岸利用の推進のため、「千葉県海の家等適正利用指針」に基づき、市町村において地域特性に応じた計画的な海岸利用の促進を図るとともに、海岸の適正な管理に努める。また、九十九里浜では、車などの無秩序な乗り入れて自然環境が破壊されないよう、海浜への車両の乗り入れが規制されているが、乗り入れ規制の徹底遵守を図るほか、地域特性に応じた海岸利用のルール作りなど、人為的な影響の抑制方法の検討を行う。	適正利用を遵守する体制の構築と計画的な海岸利用の推進、健全で秩序ある海岸利用の推進、地域ニーズと調和した海岸利用の推進のため、「千葉県海の家等適正利用指針」に基づき、市町村において地域特性に応じた計画的な海岸利用の促進を図るとともに、海岸の適正な管理に努める。また、本ゾーンの砂浜海岸の一部では、車などの無秩序な乗り入れて自然環境が破壊されないよう、海浜への車両の乗り入れが規制されているが、乗り入れ規制の徹底遵守を図るほか、地域特性に応じた海岸利用のルール作りなど、人為的な影響の抑制方法の検討を行う。	適正利用を遵守する体制の構築と計画的な海岸利用の推進、健全で秩序ある海岸利用の推進、地域ニーズと調和した海岸利用の推進のため、「千葉県海の家等適正利用指針」に基づき、市町村において地域特性に応じた計画的な海岸利用の促進を図るとともに、海岸の適正な管理に努める。また、和田浦海岸、白渚海岸、大原海岸、瀬戸海岸といった砂浜海岸では、車などの無秩序な乗り入れて自然環境が破壊されないよう、海浜への車両の乗り入れが規制されているが、乗り入れ規制の徹底遵守を図るほか、地域特性に応じた海岸利用のルール作りなど、人為的な影響の抑制方法の検討を行う。	適正利用を遵守する体制の構築と計画的な海岸利用の推進、健全で秩序ある海岸利用の推進、地域ニーズと調和した海岸利用の推進のため、「千葉県海の家等適正利用指針」に基づき、市町村において地域特性に応じた計画的な海岸利用の促進を図るとともに、海岸の適正な管理に努める。
	○日常生活の快適性を高める海岸整備	君ヶ浜海岸、外川漁港海岸では、海岸のバリアフリー化の必要性が指摘されていることから、年間を通じた地域の人々の利用や高齢化が進む地域特性を踏まえ、だれもが気軽に利用できるバリアフリーの海岸環境づくりを目指す。また、保全施設整備にあたっては、地域住民の日常生活における快適性や地域への愛着を育む環境づくりに配慮する。	海岸のバリアフリー化の必要性が指摘されている海岸があることから、年間を通じた地域の人々の利用や高齢化が進む地域特性を踏まえ、だれもが気軽に利用できるバリアフリーの海岸環境づくりを目指す。また、保全施設整備にあたっては、地域住民の日常生活における快適性や地域への愛着を育む環境づくりに配慮する。	岩和田漁港海岸、網代湾海岸、勝浦海岸、鶴原漁港海岸では、海岸のバリアフリー化の必要性が指摘されていることから、年間を通じた地域の人々の利用や高齢化が進む地域特性を踏まえ、だれもが気軽に利用できるバリアフリーの海岸環境づくりを目指す。また、保全施設整備にあたっては、地域住民の日常生活における快適性や地域への愛着を育む環境づくりに配慮する。	多くの海岸で、バリアフリー化の必要性が指摘されていることから、年間を通じた地域の人々の利用や高齢化が進む地域特性を踏まえ、だれもが気軽に利用できるバリアフリーの海岸環境づくりを目指す。また、保全施設整備にあたっては、地域住民の日常生活における快適性や地域への愛着を育む環境づくりに配慮する。	全国的な観光地でもあることから年間を通じた地域内外の人々の利用や高齢化が進む地域特性を踏まえ、だれもが気軽に利用できるバリアフリーの海岸環境づくりを目指す。また、地域住民の日常生活における快適性や地域への愛着を育む環境づくりに配慮する。
	○海辺へのアクセス性の向上	殆どの場所では海岸背後に道路が通っており、海岸・水際へのアクセス性は良好であるが、海と地域住民の日常生活は密接に結びつきながら地域文化を形成してきたが、現在は、生活形態や産業形態の変化により海との結びつきが薄れつつある。サイン施設や散策路など海岸部と背後集落とのアクセス性を高める整備を行う。	全線にわたり海岸付近に道路が通っているが、片貝から一松の九十九里有料道路区間では、海岸迄のアクセスが良好とは云えない。海と地域住民の日常生活は密接に結びつきながら地域文化を形成してきたが、現在は、生活形態や産業形態の変化により海との結びつきが薄れつつある。サイン施設の整備など海岸部と背後集落とのアクセス性を高める整備を行う。	御宿町～鴨川市境にかけては海岸背後に道路が通っており、海岸・水際へのアクセス性は良好であるが、海と地域住民の日常生活は密接に結びつきながら地域文化を形成してきたが、現在は、生活形態や産業形態の変化により海との結びつきが薄れつつある。サイン施設や散策路など海岸部と背後集落とのアクセス性を高める整備を行う。	海岸背後に道路が通っており、海岸・水際へのアクセス性は良好であるが、海と地域住民の日常生活は密接に結びつきながら地域文化を形成してきたが、現在は、生活形態や産業形態の変化により海との結びつきが薄れつつある。サイン施設や散策路など海岸部と背後集落とのアクセス性を高める整備を行う。	ほぼ全線にわたり海岸線付近に国道他の道路が走っており、海岸近くへのアクセスは良好といえる。ただし、水際のアクセスは岩礁海岸が多い地形的特性により、近づくことが困難な場所が多い。海と地域住民の日常生活は密接に結びつきながら地域文化を形成してきたが、現在は、生活形態や産業形態の変化により海との結びつきが薄れつつある。サイン施設や散策路、駐車場整備など水際のアクセス性の向上を図る整備を行う。